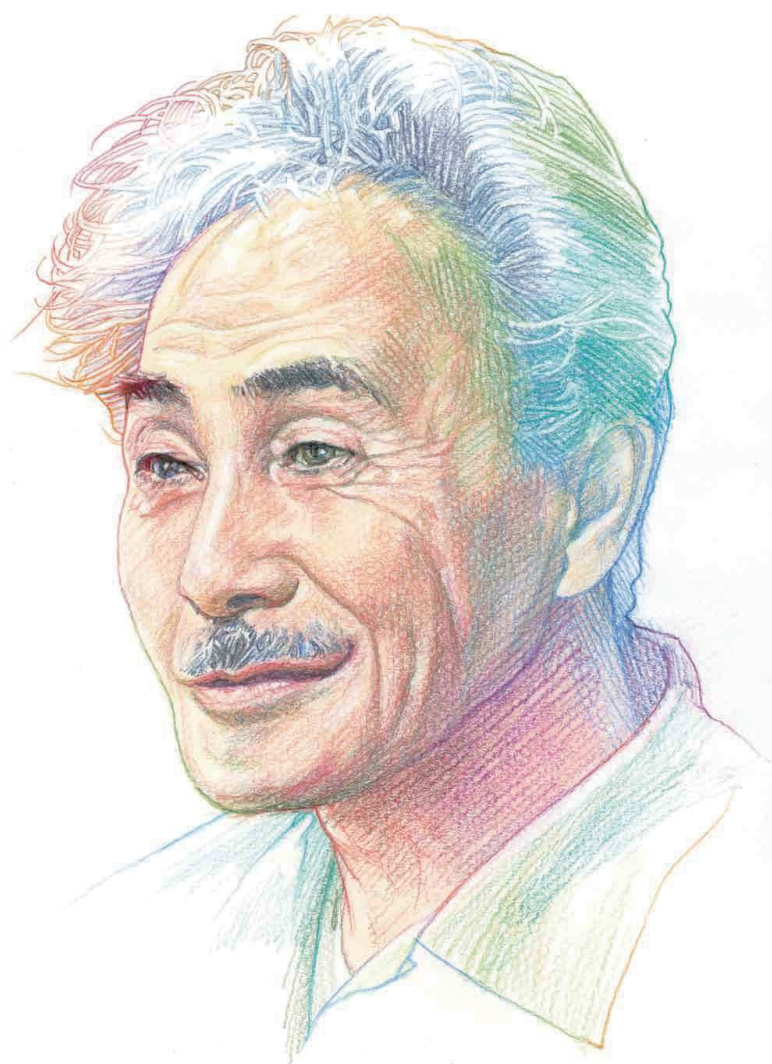


東洋的幻想詩人

くら はら しん じ ろう

蔵原伸二郎

Kurahara
Shinjiro



明治 32 年 (1899) ~ 昭和 40 年 (1965)

阿蘇市生まれ

詩人

九州学院卒業後、慶應大学^{けいおう}仏文科在学中に萩原朔太郎^{はぎわらさくたろう}の影響のもとに詩を書き始める。同人誌『コギト』『四季』に参加。棟方志功^{むなかたしこう}が装丁した詩集『東洋の満月』で、阿蘇の風土を核にした原始イメージを見事に形象した。戦時中は民族主義に傾いたりしたが、戦後は本来の詩精神を深め、詩集『岩魚』^{いわな}で、原始風景への回帰に基づく人間と宇宙との合一を歌い、読売文学賞を受賞。評論集に『東洋の詩魂』^{しこん}がある。